

第5回 仙台市総合計画審議会議事録

日 時	平成22年 8月27日（金） 16：30～17：50
会 場	仙台市役所 2階 第一委員会室
出席委員	石川建治委員、内田幸雄委員、大草芳江委員、岡本あき子委員、小野田泰明委員、菊地昭一委員、小松洋吉委員、佐竹久美子委員、菅井邦明委員、鈴木勇治委員、鈴木由美委員、高野秀策委員、西澤啓文委員、庭野賀津子委員、針生英一委員、樋口稔夫委員、増田聡委員、宮原育子委員、柳井雅也委員 [19名]
欠席委員	足立千佳子委員、阿部一彦委員、阿部初子委員、江成敬次郎委員、大滝精一委員、大村虔一委員、永井幸夫委員、西大立目祥子委員、間庭洋委員、水野紀子委員、柳生聡子委員 [11名]
事 務 局	山内企画調整局長、白川総合政策部参事、梅内総合計画課長、遠藤総合計画課主幹、柳津総合計画課主幹
議 事	1 開会 2 議事 (1) 仙台市基本構想・基本計画（中間案）について (2) その他 3 閉会
配付資料	1 仙台市基本構想・基本計画（中間案） 2 仙台市基本構想・基本計画（中間案）概要版（案） 3 新総合計画策定に係る市民参画事業・広報について 4 審議会日程（案）

1 開会

梅内総合計画課長

本日はお忙しい中、またお暑い中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。ただ今から第5回総合計画審議会を開催したいと存じます。

本日資料の最後に大村会長からのメモをお付けしておりますけれども、急遽、今日になりまして大村会長のご所用のため、ご欠席となりましたので、議長を宮原副会長にお願いすることで進めさせていただきたいと思います。

事前に資料等のご報告をさせていただきます。

本日出席予定の委員が19名ですが、現在16名ご出席いただいておりますので、定足数を充足していることをご報告申し上げます。

次に資料の確認をさせていただきます。お座席に座席表、新総合計画策定の作業マップ、次第、資料一覧、資料1から4、そのうち資料2が概要版という別印刷冊子でございます。そして、資料1の参考資料1と2、前回まで事務局でお預かりしました資料と議事録をファイルでつづったものを置かせていただいております。資料に不足などござ

いませんでしょうか。

それでは、会議に先立ちまして、大村会長のメモを読み上げさせていただきます。

本日は、急な用務で審議会を欠席することとなり、申し訳ございません。

委員の皆様のご協力により、本日、中間案を決定できるところまでくることができました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

これからパブリックコメントなどで、市民のご意見を伺いながら、最終案に向けて、様々な議論を重ねていくこととなります。委員の皆様も、この間、お気づきのことなどあれば、事務局へメールなどにより、ご意見をお寄せいただければと思います。

本日を新たな出発として、皆様と共に検討していくこととさせていただきたいと思っております。

これからもよろしくお願いいたします。

ということでございます。

それでは議事に入りたいと思います。

では、宮原副会長お願いいたします。

宮原育子副会長

皆様こんにちは。

ただ今の事務局からご報告がありましたように、本日、大村会長がご欠席ということになりました。私もお昼過ぎに、えっと思いながらおうかがいしまして、この日のために副会長がいるんだということで、今日はがんばりたいと思いますので、皆様ご協力をどうぞよろしくお願いいたしますと思います。

最初に本日の議事録の署名委員の指名をしたいと思いますが、前回、石川委員にお願いいたしましたので、順番で次は内田委員にお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。

内田幸雄委員

はい。

宮原育子副会長

はい、ありがとうございます。それではよろしくお願いいたします。

2 議事

(1) 仙台市基本構想・基本計画（中間案）について

宮原育子副会長

それでは、議事に入りたいと思います。

本日の議事は次第にありますように二つです。

まず一点目としまして、仙台市の基本構想、基本計画（中間案）につきまして、決め

ていくということになります。皆様のお手元の資料の上に作業マップがあると思うのですけれども、今日は審議会の ということで、この作業マップのだいぶ下の方にきたということで、これまで皆様には基本構想につきましては起草委員会で、そして基本計画につきましては市民の暮らし部会と都市の魅力部会、それぞれでご審議をいただけてきました。今日いよいよ、審議会の結果を反映しまして、まずは中間案の最終案を事務局から提出されてきておりますので、今日は事務局からの説明をお願いしまして、その後各部会からの議論につきましてコメントをいただきたいと思います。

それではまず、事務局からのご説明をよろしくお願いいたします。

梅内総合計画課長

それでは資料１と、資料１の参考資料１「部会後の基本計画（中間案）の主な修正」という資料をご覧くださいと思います。

先週開かれました、第２回の市民の暮らし部会、都市の魅力部会で、基本計画（中間案）について様々なご議論をいただきました。基本構想につきましては、起草委員会で大滝委員長に最終確認をいただいた上で内容を確認しておりまして、簡単な字句の訂正を除いて、その後変更したところはありません。今回は基本計画（中間案）の主な修正を資料１、参考資料１と共にご説明させていただきます。

資料１の５ページをご覧ください。総論から始まっておりますが、中の記載を、基本的に西暦を元号に統一いたしまして、西暦があった方が簡便である、利便性が高いというところについて、括弧書きで西暦を付すという書式に統一をしたところでございます。

次に９ページをご覧ください。ここから四つの重点政策が始まっておりますが、前回の都市の魅力部会、市民の暮らし部会でのご議論を経まして、重点政策のタイトルについて変更を加えました。そして「（１）学びを多様な活力の創造につなげる都市づくり」でございますが、ここについては両部会で最もご議論があったところでございます。分かりにくさを避けるために、内容については基本的に大きな変更はしておりませんけれども、体系を組み替えまして 以下のところにア）、イ）といった小見出しを付けて内容を区分し、分かりやすく統一したつもりでございます。ご意見といたしましては、学びによって広がる市民力をまちづくりに生かすという積極的な視点が必要ではないか、また、地域の視点が重要ではないかというようなご意見がありましたので、こういったことを意識しまして表記を修正したものでございます。「多様な学びの素材の創出」のところ、「ア）地域での素材の発見」、「イ）都市景観・自然環境のミュージアム資源としての再構築」、そして「学びの楽しみに満ちた環境づくり」のところに、「ア）学びの拠点づくり」ということで市民センター等の役割、「イ）学びボランティアの育成・ネットワーク化」ということで、市民力と共にこういった学びの活動を推進することの重要性を書いております。そして、ウ）ということで、「市内施設のミュージアム化」、都市施設、市側の施設だけではなく民間ミュージアムですとか、店舗の一角などを利用したいろいろなスポットがあると思ってございますので、そういったものをどのようにつないでいくかということに記載してございます。そのほかに、市・県関係の生涯学習施設の連携強化、仙台・宮城ミュージアムアライアンス等の事業を掲げま

した。また、こういった場の学びを都市の活性化に積極的につなげるべきだというご意見を踏まえまして、「ア）学びツーリズムの創出」、「イ）地域経済への活性化」といった形でこれを活力づくりに生かせないかと考えてございます。ウ）のところで、クリエイティブ産業などと、非常に結びついて効果を発揮すると考えておりますので、こういった要素を付け加えたところでございます。「ミュージアム都市を仙台の都市ブランドとして高める」というところで、「ア）ミュージアム都市推進のための組織づくり」、「イ）ミュージアム都市推進のための拠点づくり」という二つを項目として加えたものでございます。次に（２）のところで、部会で阿部委員からご指摘がありました、ノーマライゼーションという用語をソーシャル・インクルージョンに修正を加えました。また、16ページの「（４）成熟社会に豊かさを創り出す賑わい・活力づくり」でございませけれども、ここのところにつきまして、商店街の関連を中小企業と共に本市の産業の中核をなすというところでございますので、の方に場所を移しまして、また、ご指摘のありました次世代の成長産業といたしまして、環境産業関連を追加したところでございます。環境産業につきましては17ページ、イ）の２段落目のところに太陽光発電等最近非常に活性化している産業分野でございませるので、この部分を記載しているものでございます。

次に「第３章 分野別計画」でございませ。30ページ（２）でございませますが、ここの部分のタイトルを変えてございませ。この部分につきましては重点分野とタイトルが非常に似通っておりますので、少しでも違いをはっきりさせようと思っておりますが、共に非常に広範な分野を含んでおりますので、なかなか事務局としても苦勞しているところでございませ。この「（２）共に生き自立できる社会づくり」のところから、今回は高齢者が元気で安心して暮らせるでありますとか、子育てを応援するということで、重点分野の少子高齢時代の支え合う社会づくりというものを抜き出した形にしてございませ。（３）、（４）につきまして、ご指摘のありました表現、企業でありますとか（４）であればコミュニティビジネスやソーシャルビジネスといったような観点が必要だというご意見を踏まえまして、そこを追加したところでございませ。また、（５）につきましてスポーツ関連の表現を追加。都市の魅力分野につきまして、子供の遊び場としての公園の重要性、（３）のところ駅前広場の再整備の検討等、表現の修正を行ったところでございませ。

次に最後、97ページの「推進に向けて」でございませ。ここのところの（３）の表現を変えております。「市民協働による評価・点検」ということで、前は委員会等ということで評価の方法について限定いたしておりましたが、委員の方からワークショップ等の多様な手法をそういうものに取り組んでいくべきだというご意見ございましたので、ここの部分を統合しながら完結にまとめて表現を修正してございませ。

主な修正点は以上でございませ。

次に、戻って恐縮でございませが、今回初めて区別計画が正式に各区から提案されてございませ。59ページをご覧ください。現行計画の仙台21プランでは各区の計画が各区ごとに３ページ程度という簡潔な記載になっておりますけれども、今回は各区の方で独自に文章を起こしまして、地域の皆さん、関係団体の皆さんのご意見をうかがいながら

区別計画をまとめてきたところでございます。その結果、各区 8 ページから 9 ページと
いった少し長大なものになりました。59ページにございますように、区ごとに区の将来
ビジョン、区の主な施策の基本方向、そして区を四つから五つの地勢ごとの圏域に分け
まして、これごとに主な施策の基本方向を考えたところでございます。また、区の地域
区分図ということで、重点政策にあります都市デザイン、グランドデザインを各区域に
区分したものを各区の巻末の方に付けているところでございます。

60ページ、青葉区でございます。青葉区のところは区の特性と動向が1ページ半にわ
たって記載がございまして、将来ビジョンとして三つ、「交流と活力にあふれ未来に歩
み続けるまち」、「みんなで支え合い共に元気に暮らせるまち」、「杜の都の誇りを次
代につなぎ高めていくまち」という将来ビジョンを掲げているところでございます。そ
して、61ページ以降に各々の主体に従いまして、主な施策の方向性を掲げてございま
す。「都市機能等の充実・強化」、「まちの賑わい・魅力の拡充」、「安心・快適なまちづ
くりの推進」、「高齢者がいきいきと暮らせるまちの実現」、「子どもたちが元気に育
つ環境づくりの推進」、「自然環境・歴史文化・景観等の保全・継承」といったことを
記載してございます。また、まちづくりの推進にあたって、区民参画のまちづくり、
「地域の特性に応じたまちづくりの推進」を掲げているところでございます。また、都
心部をはじめとしまして五つの圏域、64ページには「都心周辺地域」、65ページには
「丘陵住宅地域」、そして「愛子および周辺地域」、66ページの「西部山岳丘陵地域」
といった区域に分けまして、特性と動向、主な施策の基本方向を掲げてございま
す。この圏域ごとに67ページに記載しました都市空間区分図をお付けしているものでござい
ます。同様の構成によりまして、宮城野区、若林区と続いてまいります。

宮城野区、68ページからでございます。69ページに将来ビジョンといたしまして、
「自然の恵みと調和しつつ、安全安心の宮城野の里」、「広く交流し、活力あふれる宮
城野の里」、「人々が支え合い、共生する宮城野の里」、「生涯を通じて学び、次世代
を育む宮城野の里」という四つのビジョンを掲げてございます。そして、それに応じま
して、施策の方向性を以下に記載しているところでございます。宮城野区、圏域といた
しまして71ページから「都心および周辺地域」、駅東地域を中心とした区域について記
載してございます。72ページの「丘陵住宅地域」、「北部住宅・田園地域」、73ページ
の「東部住宅・産業・田園地域」といった四つに区分して主な施策の基本方向等を記載
しているところでございます。74ページに宮城野区の地域区分図を掲げてございます。

若林区が75ページからでございます。将来ビジョン、76ページにございますが、「災
害に強く、地域の絆の中で安心して暮らせるまち」、「世代を超えて結び合い、子ども
の笑顔が輝く希望のまち」、「潤いに満ち、水辺・緑・歴史の個性あふれる魅力のま
ち」、「東西都市軸を生かし、都市の発展を導く活力の満ちるまち」、「都市と田園の
地域特性を生かし、連携と交流で拓く賑わうまち」というこちらは五つのビジョンを掲
げているところでございます。圏域といたしまして78ページ、「都心および周辺地域」、
「郊外住宅地域」、「産業・交流地域」、「田園・海浜地域」という四つの地域を示し
まして、それに応じました主な施策の基本方向を記載してございます。81ページには圏
域を基にしました地域区分図をお付けしているところでございます。

太白区、82ページでございます。将来ビジョンは83ページ「災害に強く、安心で健やかに暮らせるまち」、「豊かな地域資源と文化・スポーツ・芸術が息づく潤いのあるまち」、「交通利便性が高く、充実した住環境を形成・持続するまち」、「自然の恵みや豊かさが実感でき、魅力ある都市空間を有するまち」でございます。施策の主な方向性が下にございまして、85ページの末から圏域ごとの基本方向を記載してございます。「南部拠点地域」、長町周辺の地域でございます。86ページの「名取川右岸地域」、「丘陵住宅地域」、「太白山周辺地域」、そして88ページに「秋保地域」の特性と動向、主な施策の基本方向を記載しました。89ページに地域区分図がでございます。

最後、泉区でございます。将来ビジョンが91ページにございますが「市民活動が輝く『賑わいのまち』」、「泉ヶ岳、七北田川などの自然を守り親しむ『憩いのまち』」、「高齢者がいきいきと暮らし、子育てに優しい『共生のまち』」、「災害に強く、犯罪・事故の少ない『安全・安心のまち』」でございます。区の施策の基本方向がございまして、圏域として四つ、「北部拠点地域」、「泉ヶ岳および西部田園地域」、「丘陵住宅地域」、「北部産業地域」の四つにつきまして主な施策の基本方向等を掲げているところでございます。96ページに地域区分図がでございます。

基本的には区の施策につきましては、全市の基本構想に基づく都市像を区ごとに割っておりますので、表現の骨子としては似通った部分もございますが、各々の区ごとに、区独自の地域の取組等を文章に盛り込んでおりますので、動向等につきまして非常に、ある意味個性が出ております。当初、私共企画調整局の方である程度統一しようかとも図ったんですけれども、やはり各区が自ら考えるところに意義があると考えまして最低限の修正でとどめ、各区の個性を出すように努めたものでございます。

区別計画につきまして以上でございます。

全体のご報告を終わらせていただきます。

宮原育子副会長

ありがとうございます。

続いて中間案の確定後の市民への広報、それから今後のスケジュールについてもご説明をお願いします。

梅内総合計画課長

修正点は以上でございますけれども、このような内容につきまして、中間案を確定できればと考えているところでございます。今回、薄い冊子、カラーで印刷しました概要版をお示ししました。お開きいただきまして、1、2ページのところに基本構想、仙台の未来へ、未来を創る市民力、都市像、未来に責任を持つ都市経営、総合計画の推進を記載してございます。3ページ、4ページでございます。ここから基本計画の記載でございます。総論ということで計画期間、人口指標、基本的な考え方、4つの重点政策、4つの経営方針、都市空間構想図を付けております。5ページ、6ページ、市民の暮らし分野と都市の魅力分野の2体系に分けました分野別計画でございます。中項目中分類のところの項目だけをお出ししております。そして、7ページ、8ページ、ただ今ご紹介

介させていただきました区別計画でございます。9ページ、10ページ。9ページが「総合計画の推進に向けて」でございます。そしてこれを基に今回、パブリックコメントや市議会での審議などをいただく予定でございます。最終ページ、裏表紙でございますけれども、ご意見をお寄せくださいということで切り取り線のところ、今日のものはあて名等を落としておりますけれども、このところにはがきを印刷させていただきます、これを切り取って投かんしていただければ、ご意見が市役所の方に届くようにしておりますのでございます。

続きまして資料3をご覧ください。これからの新総合計画策定に係る市民参画事業や広報についてでございます。明日28日と来週9月4日土曜日、2回にわたりまして「まち歩きフィールドcafe」というワークショップを開きます。これには総合計画審議会の委員の先生方にファシリテーターをお願いしておりますので、ご参加の先生には本当に土曜日の貴重な時間、お暑い中恐縮でございますがよろしくお願いいたします。大体35名程度の参加者で定数をオーバーした申込みがありましたので、調整をさせていただきます、その皆さんでグループをつくりまして四つの市民力が輝く現場に出向いていただきまちづくりを考えて、その結果をまとめていただくような「フィールドワーク型ワークショップ」を行ってまいります。次にパブリックコメントでございます。中間案につきまして先程の概要版とも共にしまして、ホームページを中心に9月10日から10月20日までのおよそ40日間、ご意見を募集する予定でございます。また、各界各層・有識者調査ということで、500名・団体程度に対し中間案の概要版及び全文等を送付いたしまして、それぞれの立場からのご意見をいただきたいと思います。また、区民意見交換会を開きまして9月の後半と10月の後半から11月上旬にかけての、全12回、各区区民の皆様は全体概要と先程の区別計画につきましてご説明し、様々な意見を聴取してまいります。次に10月10日日曜日には、まちづくり市民フォーラムということで、先程のまち歩きフィールドcafe(1)と連携いたしまして、連続する形で市民力をテーマとしました意見交換、パネルディスカッション等を実施してまいります。ここにも、審議会の委員の先生にご協力をいただく予定でございます。場所はせんだいメディアテーク1階のオープンスクエアでございます。これに加えて、これから毎月の市政だよりのB面、あるいは中間のページ、仙台市ホームページ、新聞広告、9月中パブリックコメント期間中に二度の新聞広告を予定しておりますので、それらによりまして随時広報を行ってまいります。これによりましてできるだけ多くの市民の皆様からご意見をいただき、これから中間案の修正に向けて取り組んでまいりたいと考えてございます。

続きまして資料4でございます。今後の日程といたしまして、本日中間案をご決定いただき、先程資料3でご説明しました市民参画事業につきまして実施した後、10月の25日、26日と次の部会を開きたいと思っております。そして、そこで市民意見がどのようなものがあったか、議会でのご議論でどのような意見が出たかということについて、中間案の確認をさせていただきます、それに対して部会からご意見をいただきたいと思います。そして、そこでいただいた意見を基に、11月中旬に中間案の見直しにつきまして、具体的な内容の提示をしてまいりたいと思っております。そして11月下旬に中間案の見直しを一旦

決定いただきまして、再び12月の議会で市議会にもご報告し、ご意見をいただき、それらを踏まえまして1月中旬頃を目途に最終の答申案を審議・決定してまいりたいと考えてございます。答申につきましては、こちらといたしましては1月の下旬頃にいただければと思っているところでございます。

以上でございます。

宮原育子副会長

ありがとうございました。

ただ今事務局の方から中間案の最終案のご説明と、それからその中間案をこれからどのように市民にお伝えするかということで、パンフレットそれから日程等のご案内がありました。基本構想等につきましては、起草委員会の方でいろいろ議論をしていただいて今日こちらに掲載されているわけですが、本日も、大滝委員長がご欠席ですので、どなたかほかの委員の方に少しコメントをいただければと思っております。

小野田委員、いかがでしょうか。

小野田泰明委員

委員長代理のご指名ですので、簡単に基本構想についてどういう議論をしたかということだけ、少しご説明させていただきたいと思います。

先程事務局から説明があったと思いますが、基本構想、特に1ページの2の(1)「仙台の市民力」というものが出来ておりますけれども、これをまず表に掲げようという議論をしました。これについては先般来、この総合計画審議会で市民力というのをきちんと定義しないとなかなか分かってもらえないと、やりたいことというか方向性は分かるけれども、やはり基本構想にしっかり載せるにはもう少し概念としてきちんと鍛えて欲しいというお話もありましたもので、それについて相当議論をしました。その議論をする中で、かなりまだ未完成といいますか固まった概念ではなくて、これは運動してどんどん鍛えられていく概念だということを明記していけば、この二番目に掲げて差し支えないだろうという議論がありまして、ここに載せております。これはかなり個性的な構成になっているのではないかと考えております。1の「仙台の未来へ」というのはいわゆる枕詞ですので、その次に「仙台の市民力」が来ているということは最初に掲げられているということと意味が同じですので、かなり思い切った判断をしております。

それで「仙台の市民力」ですが、構成される中身がまず「地域で支え合う市民力」。やはり、いろいろな市民力が考えられますけれども、まず地域のコミュニティをベースにしたものがあります。もう一つは、それとは全く別に地域とかそのものに関係なく同じ様なテーマ、市民の関心に基づく、場所に縛られないコミュニティというものもありますと、縦軸と横軸のような定義をしています。三番目に「市民意識を育む活動」ということで、そういうものが活動を通してだんだん充実していくという、先程申し上げたようなダイナミックな概念であるということを説明しています。それで、(2)に「市民力の育成と発展に向けて」ということで、協働のまちづくりというか実際個別の

事業すべてにおいてこういうことが展開されることが必要ですという話にもってきております。こちら辺はかなり力を入れて議論をしたところでございます。

次の3の「仙台の都市像」の中の(1)から(4)までが従来から言われている四つの軸でございます。その四つの軸にいくつかちょっと肉付けをしております。例えば(3)の ですがけれども、都市近郊に広がる農地や里山を保全し、農林業の多面的云々ということで、都市の中心部の話ばかり最初の素案では出ていたんですがけれども、そうではなくてやっぱり中心と郊外とのバランスの取れた関係、それが農業の発展であったり生き甲斐につながったり、豊かな自然を生活の中に取り入れることにつながったりと、様々に関係していくということで をお願いしています。

そういう形で後3ページの「4 仙台の未来に責任を持つ都市経営」ということで、こちら辺もかなり厳しく事務局とやりあって、その結果3ページの一番下「市役所の自己改革を加速します」とかなり踏み込んだ表現になっております。

委員の先生方が非常に献身的に議論されてここまで書き込めて、この基本構想というものが形としてもっている。委員会の中で力不足なところはまだまだありますけれども、かなり新しいところを込められたとは思っております。

問題はこれまでにない新しい部分が、基本計画などの中にどのように盛り込まれて整合されていくのかという辺りは、やはりこれからも注意しながら、先生方とも積極的に議論を重ねてご意見いただきながら練っていかないといけないという話になっていたかと思います。

終わります。

宮原育子副会長

どうもありがとうございました。基本構想につきましては、今小野田委員から詳細に経緯のお話をいただきました。

次に基本計画につきましては、市民の暮らし部会と都市の魅力部会に分かれまして議論をしてまいりました。今日お示しされた中間案があるわけですが、部会ごとにコメントをいただきたいと思います。

市民の暮らし部会の小松部会長、よろしくお願いします。

小松洋吉委員

小松でございます。

8月19日に市民の暮らし部会を開催いたしました。簡単にお話させていただきますが、ここでの議論は重点政策とそれから分野別計画の市民の暮らし分野の五つの分野についてでございます。そこで実に多くの、表現のことなどたくさんのご意見をいただき、厳しい審議というよりも私共の方では和やかな審議をさせていただいたつもりであります。あえて繰り返しませんけれども、このハードなスケジュールの中で事務局の皆さんにご尽力いただきまして、ほとんど先程の微調整というか修正の中に盛り込まれております。

時間が限られておりましたので十分議論できなかったところもあるかもしれません。それは今日皆さんでご協議いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

以上であります。ありがとうございました。

宮原育子副会長

どうもありがとうございました。

次に都市の魅力部会は私が部会長でしたので、私もちょっと議論の様子だけということでお話したいと思います。

今日事務局からいろいろな表現や、それから中間案の修正につきましてご提示をいただいていたしまして、都市の魅力部会につきましても中間案の段階までで修正できるところはほぼ今回盛り込んでいただいたかと思います。ただ、やはり18日の部会の中であつたんですけれども、かなり皆さんから今回の中間案を超えた形で、もう少し審議のいる様な事ないしは方向性としてももう少し発展的なニュアンスを含んだような書き方といいますか、後それから考え方をしっかりと基本計画にも盛り込むべきではないかといったようなことや、例えば中間案の段階で都市のコンパクト化を進めていきたいと思いますときに、余りにも極端というか性急すぎるような形で、もっと議論が必要ではないかといったようなこともあつたんですけれども、最終的にはこちらの部会では、次のパブリックコメント等いただいた後、また最終案に向けて議論を進めていくようなお話をたくさんいただいたので、まだこれから議論が続きますので部会の方でもいろいろと活発にお話をしていけたらと思います。

簡単ですけれども、私の方の部会からということでお話をいたしました。

それでは、今までのいろいろなご説明、ご報告を一通り終わりにして、審議に入りたいと思います。

今回の中間案につきましては事務局からご説明ありましたとおり、起草委員会や部会等でもいろいろ議論、審議をされまして、起草委員長や部会長の責任におきましてご確認いただいておりますので、今回これを中間案として市民の皆さんからご意見を聴く上での案としては、基本的にはいいのではないかと思います。

一応今日は資料1の基本計画の中間案のうち、新しく加わった59ページから97ページまでの区別計画の部分ですけれども、今日こちらは初めて詳しいご説明を受けた部分になると思いますので、ここの部分につきましてご質問やご感想等がありましたら、お願いしたいと思っております。

いかがでしょうか。

菅井邦明委員

今説明を受けて特に最初のところが非常に、私資料を送っていただいて、今先生からご説明あつたんですけど、分かりやすくてすんなりこう入ってきました。それは、さっき市民力の話から、ページからいうと1ページで仙台市の基本構想と書いてあって「1 仙台の未来」へ書いて、「2 仙台の未来を創る市民力」があつてそれから、3番目、4番目のところを4ページまで書いて、そこはよく整理されているなと思いました。すっところ頭の中に流れて入ったんです。

ところが、思考的にそれと後ろが繋がらないです。まだ中間案ですからいろんな文

章の書き方がある、これからいろいろな形があると思うんですが、私個人とすれば3ページ、4ページまでずっと読ませていただいて、ああなるほどと思ったんですが、5ページ以降のところとつながらない。

例えば一例だけちょっとあげますと、6ページのところに、「基本的な考え方」、またここで出て来るんで、これはちょっと違和感ありますけど、それはいいとして、基本的な考え方の「重点的な取り組み」というのがあるんですね。その中で、2行目の後ろから「ミュージアム都市づくり」、「支え合い社会づくり」、「魅力的で暮らしやすい都市のデザイン」とこう四つの重点政策を掲げると書いてあるんです。この四つの重点政策が、2ページから4ページまでの都市像とか経営のところと、どう文脈がつながってこれがおりてきたのかというのが私はちょっと分からなかった。突然これが三つか四つを重点的にという、基本的なもののつながりがよく分からなかったのは是非そこは補足していただければありがたいかなと、分かりやすいんじゃないかなと。私は分からなかったですけども、多くの方が分かればそれはそれでいいんですけども。

それから例えばもう一つ、7ページの「第2章 重点的な取り組み」ということが書いてございます。9ページの「2 重点政策」と書いて、「(1) 学びを多様な活力の創造につなげる都市づくり」と書いてある。揚げ足を取るわけではないんですが、この言葉だけいえば、最初の前提として都市像の中に四つの都市像とあったんです。それが僕の頭に強くあるものですから、えっ、また違う都市像が出て来たのと思っちゃうわけです。ですから「(1) 学びを多様な活力の創造につなげる都市づくり」というのは、前の四つの挙げた大前提の、仙台市の都市像の四つのことここをつなげるとこういうものが出てくるというふうにつなげてくれると、私としては連続的に分かりやすかった。その辺がちょっと最初の理念的なものと、次の政策に移行するところのつなぎの考え方をもう少し丁寧に書かれると、すんなりと分かりやすかった。ほかの委員の方がいやこれで十分分かるというのであれば私は取り下げますが。これは云々するのではなくて、考えていただきたいということで、要望事項です。

宮原育子副会長

ありがとうございました。

いかがでしょうか。ほかにもご意見はございますでしょうか。

事務局からは。

梅内総合計画課長

ただ今のご指摘でございますが、菅井先生からは、前にもメモ等でご指摘を受けておりまして、確かに基本構想と基本計画の間のつながりですとか、基本計画の中での体系図系につきまして、練り込みという点でやっぱり不十分な点があって、構造がいまいち不鮮明で終わってしまったということはお指摘のとおりかと思えます。これからこれで市民意見をいただくことになりますけれども、そういったものを反映する中でもう一度、基本的な構造や論理構成につきまして構築し直して、全体を体系的にすっきり整理させていきたいと考えております。

宮原育子副会長

ありがとうございます。ほかにご意見いかがでしょうか。
どうぞコメントをお願いします。

石川建治委員

基本構想の流れというのはこれまでの議論をしてきた内容なのでだいぶ理解はしているんですが、改めてこのような形で出て来ますと、例えば、仙台の都市像を描いたときに、誰もが豊かに暮らせるという、暮らし続けることができる都市ということをいわば市民力、市民の皆さんでつくってあげていこうということですよ。そうするといわばその概念ということよりも、この思いを100万市民がどう共有するのかということが今後問われてくるのかなという気がするんです。そういった面ではこの文章の表現というのは市民の皆さんに、市民の皆さん自身の合意と責任がこれから強く求めてられていく内容なのかなと。そのときにどのようにそういった思いを市民の皆さんに伝えることができるのか、今後の工夫が必要なのかなということが一つ思いました。

それから、各区の区別計画についてでもよろしいですか。

宮原育子副会長

はい、お願いします。

石川建治委員

資料、各区の区別計画をいただきましたが、十分精査する時間が取れなかったののでざっとこう見たんですね。私は泉区に住んでいるものですからどうしても泉区に目がいくんですが、大体内容は理解できるんですけども、残念ながら北の拠点地域といわれておりその玄関口となる泉中央駅の扱いが、非常に弱いのではないかという気がしています。

今後、セントラル自動車等が従業員やその家族も含めて大量にこちらに移動して来ます。商工会議所のアンケートでみますと、その7割ぐらいの方が泉区に住みたいという希望を持っているということになると、北部に向かったの結節機能といいますか、そういった人たちの期待にこたえられるまちをどうするかといった場合に、例えば、泉中央駅のペデストリアンデッキの改修とかだけでいいのかどうか。いわばあそこは今バスターミナルの満杯状態、飽和状態になっておりまして、今後拡大が必要になってくるのではないかと。残念ながらその泉中央駅と八乙女駅にバスプールがあるんですけども、八乙女の方は縮小傾向にあるような気がしているんです。そうすると、泉中央に集中をしていくとなると今の状況でいいのかどうか、改めて北部の拠点地域としての玄関口として、今後の泉中央地域を見直していくというニュアンスのことを載せないと、今あることだけで事足りるという表現になっていると、これはちょっとまだ不十分なのかなということが、これを見て感じた内容ですけどもその辺は工夫してもらおうとありがたいかなと思います。

後は、三点目、今日中間案の概要版を初めて見ました。なんか立派にできているので、これでいいかなとは思いますが、今日の議論を踏まえて、これ変更ができるのかなという、変える気はあるんだろうかとちょっと不安に思ったので、その辺どのように事務局は考えているのか知りたいということと、今日決定ということになりますと、今月はもう後数日しかありません。そうだとすると、この表紙の右下の平成22年8月という表現でいいのかとか、審議会がこの概要版に責任を持つということであれば、今日の議論を踏まえて最終決定をした上でつくとすると、改めて整理をすればやっぱりこれは9月という表記になってこざるを得ないのかなという気がするんですが、そんなことも含めて考えると事務局はこれを変える気がないのかなというところをえ方をしてしまいました。その辺はちょっと確認をさせていただければと思いました。

宮原育子副会長

ありがとうございました。いろいろご意見ありがとうございました。
では、ちょっとこの件につきましてお願いします。

梅内総合計画課長

日程の件だけお話しさせていただきます。本日お出ししました概要版につきましても、版を起こしまして印刷をかけておりますが、本日のご意見を踏まえまして今週、土日も含めて校入れ校出しを予定しております。したがって、本日のご意見で修正の必要な箇所が出れば、もちろん中間案、本編もそうですけれども概要版につきましても修正を加えまして、それを出していきたいと思ってございます。8月としておりますのは、本日が中間案を決定いただく審議会だということもございまして、可能であれば、本日は議長が宮原副会長ということでございますので、副会長ないしは会長へのご報告で一任をいただきまして、月末までに取りまとめを進めたいと考えて、8月という表記をしているものでございます。

宮原育子副会長

どうぞ。

石川建治委員

市民の側、市民の立場で考えたときに、8月に決定したものが9月以降に出るわけですね。あっこれは8月に決まっていたんだと、市民が目にするのは9月になるというふうにしたときに、8月は31日あるので、そうするともう1か月も前に決まったことが今出て来たのという印象がないかなと。やっぱり市民の皆さんにこの基本構想、基本計画についてのご意見をいただこうとしているときに、なんていうんですか、ホカホカのもので是非してほしいと私はイメージするんです。そうだとすると、審議会での決定は8月だけれども、市民の皆さんの意見をうかがうのは9月であれば、できれば9月の方がいいのかなと思った次第なんです。

梅内総合計画課長

その点につきましては、委員会の方で9月がふさわしいということであれば、修正していきたいと。

宮原育子副会長

いかがですか、皆さん。こちらの、今日も少しご意見をいただいたりしていますので、9月ということによろしいですか。

山内企画調整局長

ご指摘ごもっともな点があるかと思いますが、いろんな事務的な流れもございまして、8月中に審議会のご了解をいただいて公表したいという経過もございます。この冊子としてですね、何年何月という部分もこの表に書く必要があるかどうかという部分もあろうかと思しますので、石川委員のご指摘は十分理解しておりますので、そういったことも含めて、正副会長にご一任いただいて整理をさせていただければと思います。

宮原育子副会長

なるべく今おっしゃったように、やっぱり市民の代表の皆さんが、今ここで非常に熱心に議論をしている、それがとにかく市民の人たちにもお諮りしたいという気持ちが伝わっていくような形で、今回こういう資料がお出しできればいいじゃないかと思うので、事務局の方も是非そこら辺よろしく願いしたいと思います。

はい、柳井委員。

柳井雅也委員

97ページの第5章の「(3)市民協働による評価・点検」のところですが、今度の総合計画は、恐らく過去の総合計画の対比という意味でも、市民力ということで市民の力というものを視点としたという点では、ハードからソフトへという非常に大きな変わり目になったと思うんです。しかし、そういった議論をしていくときに、今回、私の経験からすると、過去の実績と比較をしていく指標なり、その実績の対比というのは余り無かったように思うのです。例えば、人口の変化とかそういう総論的な話は分かるんですけども、例えば、NPO法人がどのくらい増えたのか減ったのかとか、後市民参加だとこれまでどのくらいあったのかというのが、そういった細かい資料というのは分からなかったんです。これからそういったハードからソフトという形でむしろ計画の流れは変わっていく、あるいは今後の総合計画、あるかどうかは分かりませんが仮にこういった大きな計画をつくる場合に、やはり過去との対比ができる資料を残していくという際にね、いわゆる数値目標をきちっとつくっていくためにも、きちっと耐えられる指標づくりというものを、実はここの中でもう考えておいた方がいいんじゃないかと思うんです。要するに、次の人たちのために。そういったことを文言として入れるかどうかは抜きにして、ちょっとここを考えていく必要があるのかなということ、

感想として持ちました。もしも、文章を入れても差し支えなければ一応文章化して、今後のそういった評価に耐えられるような検討を行っていくとか、そういった文言を入れていったらいいと思います。

宮原育子副会長

ありがとうございました。

はい、内田委員。

内田幸雄委員

今、柳井先生がおっしゃられたことと同じような事を考えていたんですけども、今の97ページの(3)の出だしを見ると、この計画や実施計画に基づくとなっていますよね。実施計画はこれができあがってから3年間のものをつくっていくんだと思うんですけど、この評価の軸はやっぱり実施計画を軸にするのか、それから10年後のこの総合計画としてそちらももちろんやるんでしょうけれども、ここら辺のところの書きぶりをもう少し丁寧にするべきではないか。柳井先生と同じようなことだとは思いますが、実施計画のところの評価ということと、この総合計画の評価ということとは何か似ているけど違うような気がするので、同じ何々と何々といういい方で書きちゃっていいのかなというのが少し感じていたところです。

宮原育子副会長

そこら辺、少し。

はい、局長。

山内企画調整局長

この第5章の部分は、最終案に向けましては今のようなご指摘も踏まえてより具体的にどういった目標にするか、そして、正に基本計画と実施計画では評価の仕組みも違いますし、その辺はまだちょっと内部的にも熟度は深まってない部分もございまして、現段階ではこの程度のレベルの記述にさせていただいて、具体的な目標設定のあり方とかあるいは手法をどういうふうに組み合わせるかとか、その辺についてはこの審議会、また様々な意見を踏まえて精査していきたいと思っております。というところでご理解いただければと思います。

宮原育子副会長

ほかにいかがでしょうか。

小野田委員お願いします。

小野田泰明委員

すみません、今日は用事で中座しなければいけないので少しだけお話をさせていただきます。

今先生方からご指摘あったことの繰り返しですけれども、まず菅井先生から、基本構想と基本計画以降をきちんと整合するようにすべきではないかという話がありました。それは起草委員の方もちょっと従来とは違う組み方をしてしまったので、従来型のような積み上げで基本計画をつくるとしてもどうしても合っていないということなんです。それは役所でいろいろな部署の意見を積み上げていくとどうしてもこういうふうになってしまうので、そこに横串を刺すような、少し庁内でワーキングをつくるのか。基本構想が割とうまくいったのは、少ないメンバーで、本当はこういうたくさんの先生方からいろんな意見をいただいた方がいいんですけども、少ないメンバーで「本当のところはどうなの」という厳しい意見をお互いに言い合ったので、まとまってきたのがあると思うんです。したがって、各新しいこの役所を代表するような若手なのか、それとも企画調整局の方での人選なのか分かりませんが、そういう方々でちょっと積極的に練っていただいて、この基本構想を計画に下ろすにはどうしたらいいのかというふうに進めて、もちろん局長をはじめ皆さんお考えでしょうけれども、しっかり腰を据えて違うやり方で是非アプローチしていただきたいと思います。

それと、石川委員からお話がありましたけれども、市民力というのは市民のことなので、今までは行政はこうしますという基本構想だから市民の人たちは「ああそうなの。まあ頑張ってるね」みたいな感じなんですけれども、この基本構想というのは市民の人たちの懐に入っている、悪くいえば余計なお世話みたいな話なわけです。それがなんか余計なお世話にならないように「ああそうだよね」って思っていたくには、やはり従来型の紙が回覧版で回ってきて「えっ、俺そんなことに同意した覚えはないよ。」と言われないように、メディアテークでワークショップをやったり、今までと違う先程のまち歩きフィールドcafeをやられたり、担当部局はすごく工夫はされていると思うんですが、担当部局が工夫されるだけじゃなくて、もうちょっと骨太かつ幅広に本当にこうなんだよということをやっているかないとなかなか理解してもらえないというか、逆に反発を買いそうな、自分で書いておいてなんですけども、これは結構危険な感じもあるので、是非そこら辺は局で抱え込まずにいろいろな先生方、いろいろな方々のお力をいただきながら進めていただきたいと思います。もちろん考えておられると思いますけれども、例えば教育とかいろいろなことがあると思いますので、例えばメディアテークも局外の組織ではありますが、これは「市民力をつくろう」、市民力をつくるためのプラットフォームということで、当時の奥山館長とか様々な人が参画してつくった訳ですから、でも新しい概念なのでなかなかまだ10年経っているんですけども、きちんとがんばっているけど、本当に100パーセント力がポテンシャルが発揮されているかということでもないような気もするので、こういうネタを彼らに考えさせるとかいろんな事が考えられるので、この限られた基本構想の時間の中でやれることと、その先をどうするか。ここから先は柳井先生、内田先生がご指摘になったことなんですけれども、それをどうやってどうフィードバックするかという辺りにもかかわってくるので、この中で完結させないで、「この中で完結させるのはこうですけど、そのほかはこうですよ」と切り分けていただけるとやりやすいかなと思います。

それと、最後にもう一つだけ。先程の区別計画なんですけれども、各区が書いてきた

ということなのですが、この先はこの審議会で自由に議論して良いということなんですか。それとも各区が書いたから、各区の人たちにそれなりにもう一回ここで議論したことをお返ししてみたいな話になるんでしょうか。

宮原育子副会長

では、お願いします。

梅内総合計画課長

本日の原案策定まで区の方で策定させていただきますということで、ご承認をいただいておりますので、これからは審議会の方でもご議論いただきまして、区の方とどこまで入れられるかの調整ということはありませんけれども、たたいていきたいと思っているところでございます。

小野田泰明委員

たたき方が結構難しいですね。先程石川委員からもご指摘ありましたように、区のことやはり区がよく分かっていますけど、自分の区がどうかというのではなくて、市がこういう市民力でこっちに動きますから、あなたの区はやっぱりこういうところを考えた方がいいんじゃないでしょうかというのは委員会でしょうし、それをどう組み合わせていくのかということがまだちょっとよく分からない。事務局が間に入って頑張りますという事なのですか。

梅内総合計画課長

基本的には事務局がということになると思いますけれども、次回以降、区の方にも来てもらうとか、実際書いている段階では区の方と担当者の方でかなりやり取りも多くしながらここに来ておりますので、区の方でも随分課題意識とか、ここはこうしたいけどなかなかできないみたいなこともありますので、その辺は庁内でも工夫していきたいと思っています。

宮原育子副会長

ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。

では、増田委員。

増田聡委員

今の区別計画ところですが、各区の部分を持ち寄って境界付近で矛盾が起こることは多分余りないような気もしますが、最後に各区の地域区分図というのが出ておりまして、無理やり各区を分けているので、これをスケールが違うんで一つの図に合わせるとやや変な事が出てきそうだなという感じはします。ですので、少し区のところをもうちょっと上の視点から整理し直して少しチェックしないといけないと思いつつ、全部読めなか

ったのでまだよく分かりませんが。少しこのゾーニング図と各区の地域区分図を重ねたときに、どういう図が見えるのかということを少し整理してみたいと思います。

宮原育子副会長

ありがとうございます。

よろしいでしょうか。

樋口稔夫委員

関連なんですけれども、私も意見を求められた一人なんですけれども、この審議会でやっている内容をよく分からないで、方向性をよく分かって整理していないんですよ。だから前から自分たちが思っていることだけ整理してきているということでさっき言ったような新しい課題については余り盛り込んでいないと。特に都心地域ですと、各区またがっていますよね。それをばらばらで各区で考えたってどうしようもない部分も多いですよ。そういうのを整理しないと。これらを区別計画というのはあくまで自分たちでやれる部分と、市の全体で考えていかないとだめなものがあるので、整理する必要があるのかなと。さっき石川委員が言ったような、やはり北部の拠点というのは仙台市だけの拠点じゃないですよ。その意識をきちっと持ってもらわないと、泉の場合北の方からの影響がだいぶ大きいんですよ。そういうことをやはり区の方でもそこまで認識してやっているかどうかということちょっと疑問が多いんですよ。そういう意味でちょっと整理する必要があるかなと思っております。

宮原育子副会長

ありがとうございました。

菅井委員お願いします。

菅井邦明委員

言うか迷っていたんですけども、先程今後の広報とか何かのスケジュールをもらって、その中に各界各層の有識者とかいろんな方に見てもらうということで、今日認めるというところの範囲も含めて、実は文言があちこちでばらばらになっているんですよ。

例えばこの中間案の方で例を、揚げ足を取るようで、せっかく一生懸命作業しているのに悪いんですけども、例をちょっと挙げさせていただくと、6ページ、7ページの方ですね。6ページの先程の「3 基本的な考え方」の「重点的な取り組み」というところがあるんですけども、この中で、下から2行目の「きめ細かな地域政策」という言葉がかぎ括弧で書いてあるんですね。今度は7ページの方にいくと、7ページの方の(2)の「では「地域政策の重視」って書いてあり、「個々の特性を踏まえた」となっている。19ページにいくと、また「きめ細かな」という言葉になって、この今回できたパンフレットでは「きめ細かな」ってなっているんですね。それと同じように、このパンフレットの中の四つの経営方針の2、3、4が全部違うんです、こちらと。ですから、これは見る方が見ると「何やっているんだ」と揚げ足を取られたり。今、徹夜で

やっている事務局の人の思いと、気持ち的には何かに。仮に中間案として表記を統一して事務局で整理して出すということまでを含めて、ここでお認めするという方がよろしいんじゃないかと。このままでこうやるとばらばらな感じがするので、「これで案か」って言う人もいるかもしれないので、この言葉の整理を少しして、これは最終的にはまた変わるかもしれませんが、今のところ統一するという作業までをお認めして、中間案としてお認めするというのがよろしいかなと。どうでしょうか。

宮原育子副会長

ありがとうございます。

今いろいろと議論が出まして、今日は委員の皆さんにはこの中間案を、これでお出ししていいんじゃないというような形で、お認めいただきたいんですが。

山内企画調整局長

今までいただいたご意見を踏まえまして、言葉のご説明をさせていただきます。一つは、市民力を重視するという流れと、そういうそれと合わせて、きめ細かな視点での地域政策も重視するべきだと、そういう流れでございまして。一方では横断的な取組を強めていこうと。その全体の構成としては、パンフレットでいくと「重点的な取り組み」の部分の「4つの重点政策」というのが、流れとしてちょっと分かりづらいというのがあろうかと思えますけれども、四つの都市像に沿って、特に重視すべき政策テーマと位置づけて、この四つを広くひろっております。

学びの都という観点から、「学びを多様な活力の創造につなぐ都市づくり」、そして共生の都という部分で「少子高齢時代に支え合う社会づくり」、そういう流れでこうまとめたつもりでございまして、そういった部分につきましては、その横断的な検討がやはり必要だと、そういうのも含めていく必要があるという、先程小野田委員のご指摘もございましたけれども、そういった流れで更に内部検討もいろいろなプロジェクトとかを使って深めていくつもりでございます。

一方で、その地域的な視点ということで区別計画、これは本当に区が中心に主体的にやられておりまして、本当に初めての取組でまだまだ不十分な点があるのは十分承知しております。ただそういった中でも、ここまで区としてまとめてきたということで、今後、審議会のご意見、また地域や様々なご意見を踏まえて精査していきたいと。

後は先程の菅井委員からのご指摘ございましたけれども、全くうちの方の校正ミスで直ってない部分もございます。例えば6ページの「重点的な取り組み」の「ミュージアム都市づくり」、「支え合い社会づくり」、これは前の段階でこういうネーミングを使っていたので、ここの部分の校正がなされてございませんので、ここは直す予定でございます。

後、今ご指摘ございました「きめ細かな地域政策」と、次に「個々の特性を踏まえた地域政策の重視」、ここは視点として若干それぞれのテーマについて表現をあえて変えてございます。ただ、それが政策の方ではなんとかの都市づくりというふうにつくり直してございまして、そこにつきましてはこのパンフレットの中でも整合を持たせてつくっ

てまいる予定でございます。

そのほかの言葉遣いとして、明らかに少し間違っているというか、直しが入ってなんじゃないかというご指摘がございましたらいろいろご指摘いただいて、直せる部分はすぐ直したいと思いますし、全体構成にかかわる部分につきましては、今後の意見を踏まえて、更に最終案に向けてという対応をさせていただきます。

そのようなことでございます。

宮原育子副会長

ありがとうございます。

後、菊地委員からも、手が挙がっていたと思います。お願いします。

菊地昭一委員

もうほとんど意見が出たんですが、一つだけ区別計画のところ。今局長がおっしゃいましたけれども、先程、課長も気を使って、恐らく区であげてきたので多少は変更も含めてって話されていましたが。全部は読まなかったのですが、二つの区についていうと区の思いがこもっていて、そんなに外れだとは、まずほとんどないのが現実で。しかも、区はご存知のとおり限られた予算なのでやりたいと思っても、市の方の抑制を考えればできないのがいっぱいあるわけで、そういう意味では市全体としてその予算の面も含めて考えていく中でのことなので、そんなに区別は触る必要はないのかなとこう読んでいて感じました。思いとして10年の間に、どういうふうにしていきたいという思いの方が強いのかなと思うので、その辺は逆にこれを議論で突っ込んでいくと、せっかく区でつくったのが、なかなか厳しいものになってくるのかなという気がするんですけどね。そういうふうにちょっと、二つの区ぐらいを見て思いましたので、その辺はまた当局の方でも考えていただければと思います。

宮原育子副会長

どうぞ、お願いします。

針生英一委員

今の区別計画のところですが、ちょっと私もざっと斜めに見て気が付いたんですが、全体的に基本構想、基本計画の中で市民力ということを中心に組み立ててきているんですけども、区の方にいったときにそこがやっぱり薄まっているという感じがするんですね。やっぱり書きぶりを見ると、NPOを加えた市民協働という言葉は中にちりばめられてはいるんですけども、それは全体の中の一つであって、戦略的にやっぱり市民と汗を流してまちづくりをするという書きぶりになっていないというところがちょっと気になっています。その辺のその仕組みづくりとか、全体の計画との連動性だとか、そういったところがやっぱりばらばらにつくっているというところもあるでしょうから、そこはちょっと今後も是非検討して行って、やっぱりまちづくりの一番現場の近いところが区役所になるはずですので、そういう部分ではかなり区の計画というのは戦略的に

書かれるべきだと思っています。

後もう一つは、やはり全部何か区がやっていく、中心でやっていくというニュアンスが強いような気がするんですね。もうちょっと、要するに市民との協働の中で、私は中間支援的な役割というのは、やっぱりもっと狭い地域の中でつくっていくべきだと思っ
ていまして、そうしないとやはり区役所とまちづくりの現場がつながってこない。中間支援機能を、要するに民間ベースの中間支援機能をどのくらい地域の中でつくって
いけるのかっていうのが、一つのまちづくりの中で大切な考え方になってくると思うので、
そういった部分の育成ですとか民間との連携によって区役所もまちづくりを推進してい
くんだという考え方が必要ではないかと考えています。

以上です。

宮原育子副会長

どうもありがとうございました。

いろいろご議論いただいておりますけれども、一応今回、局長のお話もありました。
それから菅井委員から、決め方についても、このものそのもの、プラス後これから少し
修正をしていくということを含めて、皆さんから今日はこの中間案をお認めいただく
ということできたいんですけれども。いかがでしょうか。よろしゅうございますか。

(はいの声あり)

宮原育子副会長

ありがとうございます。

それでは、これからまだ直すところもあるかと思っておりますけれども、今日の先生方のご
意見を踏まえながら、中間案の最終の形にしていきたいと思えます。

それにつきまして、私とそれから大村会長の方で確認をさせていただきながら進めさ
せていただきますので、よろしく願いたいと思えます。ありがとうございました。

(2) その他

宮原育子副会長

それから、最後に「その他」ということですが、委員の皆さんから何かございますか。
よろしいでしょうか。

3 閉会

宮原育子副会長

それでは本日の用意していただいた議事は以上で終了いたしますが、最後に事務局か
ら何かご連絡はございますでしょうか。

梅内総合計画課長

ただ今いただきましたご議論を基に、先程副会長からありましたように、最終的な字

句の調整等会長と副会長とご相談させていただきまして、中間案をまとめていきたいと考えております。

以上でございます。

宮原育子副会長

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして本日の審議会を終了したいと思います。